

B 班美術 (陶芸・コラージュ・スパッタリング)

『学校の落ち葉を使って作品をつくろう』

教科・場面

美術

授業・実践のねらい

- ・身近な校内の自然物に触れ、それを利用し、工夫して作品を作る
- ★葉っぱの形や肌触り、色に注目し興味を持つ
- ★様々な美術の技法を使って表現する

対象の生徒について 高等部 B 班生徒 1～3 年(7 名)

いす座位がとれる児童 2 名、車いす 5 名。それぞれに麻痺などがあり、制作、作業には程度の差はあるが支援、介助を要する。上肢はそれぞれ片麻痺など機能面に不自由さがあるが、言葉かけや少しの介助、支援で自分で手指を動かして活動することができる。1 名は視覚障がいがあり、ほぼ見えていないので今年度の活動は絵画でも触って感じられる素材、教材を使ったり、導入で色のイメージが膨らむように配慮して行った。

使用した材料

- ・校内の樹木から落ちた葉っぱ



工夫したところ

- ・最初の授業で校内の落ち葉拾いをして興味関心が持てるようにした。単元内容によって葉っぱをラミネートし扱いやすいように加工した。

授業展開・教材の使い方・実践の内容など

- ① 「陶芸～落ち葉皿」粘土を練って、平たく伸ばし、好きな落ち葉を選んで、並べて形や模様がつくように手指で押す
※大きい葉っぱは形自体を皿のデザインにしても可
- ② 「コラージュ」ラミネート加工した葉っぱから好きなものを選ぶ。組み合わせで目のシール(丸シール二枚)をはったり、ペンで描いたりしてオリジナルモンスターを作る。導入で色々組みあわせて見せて、イメージを膨らませるようにする。
- ③ 「スパッタリング」葉っぱを好きに取って並べる。上から落として偶然にできた形にしても良い。色を選んで、網をブラシでこすって型を何層も取る。



授業・実践を通じた児童生徒の変容

- ・それぞれの生徒が葉っぱの形や感触に興味をもって取り組むことができた。(触ってちぎったり投げたりと本来の目的とは違う遊び方をしている生徒もいたが楽しみながら、偶発的に面白い表現ができたり肯定的に捉えている)
- ・葉っぱを材料に選んだ事もあり、できた作品を触ってマチエール(触感)を楽しむ様子が見られた。見るだけでなく触って楽しむことのできる鑑賞の場となった。